

## Windows Server 2003 R2 のターミナルサービス環境における ブルースクリーン (STOP:0x50) の回避策について

弊社製品をご使用頂き、厚く御礼申し上げます。

題記の件につきまして、下記の通り御連絡申し上げます。必要に応じ、対応して頂けるようお願い申し上げます。

記

### 1. 対象製品

HF-W6500 モデル 35/30 (Windows Server 2003 R2) 形式 : HJ-653\*6ES\*\*  
HF-W7500 モデル 20 (Windows Server 2003 R2) 形式 : HJ-7520-6ES\*\*  
(\*は全ての場合を含む)

### 2. 発生条件

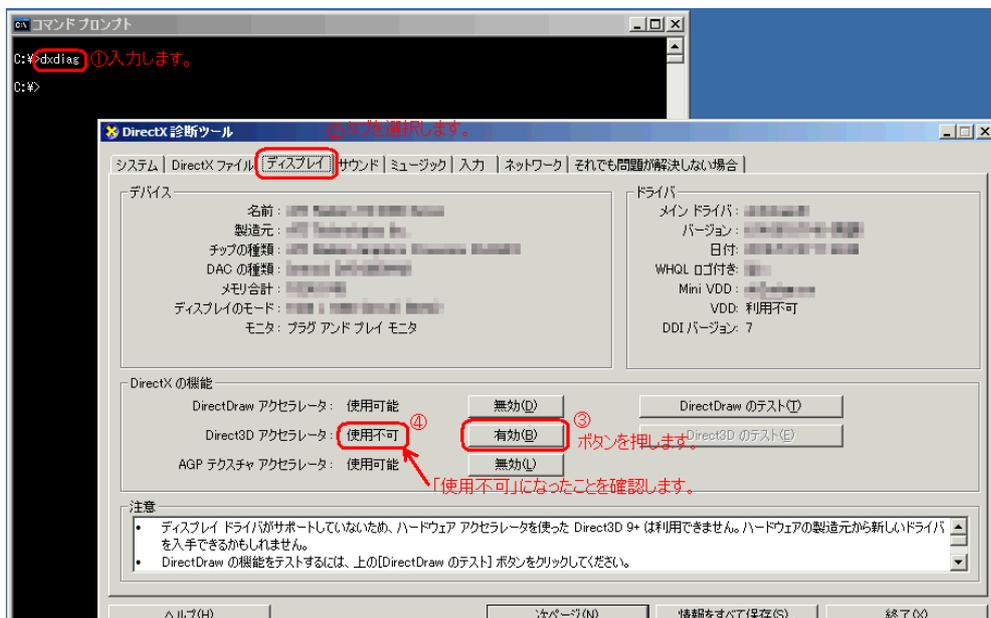
次の条件において、DirectX アプリケーション(※)を起動した際、ブルースクリーン (STOP:0x50) が発生してシステムが停止することがあります。(※) 純粋な 3D アプリケーションの他、Windows Presentation Foundation アプリケーション等 3D 機能を利用するアプリケーションを含みます。

- (1) Windows Server 2003 R2 に、ユーザによりターミナルサーバコンポーネントをインストールしている。
- (2) Direct3D アクセラレータを有効化している。(出荷時、及び修理返送時のデフォルト設定。)

### 3. 回避手順 (作業時間は、約 5 分です。)

次の手順で、Direct3D アクセラレータを無効化してください。(図参照)

- (1) コマンドプロンプトを起動し、DirectX 診断ツールを起動します。  
コマンドプロンプトで次を入力してください。dxdiag[enter]
- (2) DirectX 診断ツールが起動しますので、「ディスプレイ」タブを選択します。
- (3) 「DirectX の機能」グループの Direct3D アクセラレータの「無効」ボタンを押します。  
確認のウィンドウが表示されるので「OK」ボタンを押します。  
(この際、「無効」ボタンは「有効」ボタンに切り替わります。)
- (4) Direct3D アクセラレータが「使用不可」となったことを確認してください。



Windows Server、Direct3D、DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。